

[説明資料] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙 1 枚に記入し, PDF ファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	熊本大学	個人・グループ名	岩浪 一平	作品名	い草ラック
-----	------	----------	-------	-----	-------

製作の目的・利用方法

本教材は、小学校のクラブ活動の時間に、児童に製作させることを目的として、開発した。

特徴

材料には、スギ材(1×4)一枚、丸棒、い草を使用している。地域の製品であるい草を使用することにより児童に地域への愛着を持たせたいと考えている。

スギ材を使用したので、表面を焼く作業工程を入れているが、違う材料を使用しても問題は無い。側板などの長さや形、い草の巻き方などを工夫することで、児童のオリジナリティを出すことが出来る。

工夫した点

小学校のクラブ活動の時間での製作であるため、製作時間にも限りが出てくる。そのため、45分授業の6時間で製作が可能な教材として開発を行った。

横引きや斜め引きといったのこぎり引きの工程、釘打ち工程があり、また簡単な設計作業も取り入れることができるような教材として考えた。

従来のスパイスラックでは、自分自身が使用してみて不便なところがあったため、製作後、より活用しやすいよう小物を入れることのできるよう改良を加えた。

ほぼ同様の製作手順で、1×6を使用したマガジンラック型も製作することができる。



← スパイスラック型

マガジンラック型

